

境港市社会教育委員会議 会議録

平成 28 年 8 月 9 日

境港市社会教育委員会議（平成28年8月9日委員会議 会議録）

召集年月日 平成28年8月9日 15時00分
召集場所 中央公民館
開 会 15時00分
出席委員 遠藤 恵子 遠藤 恵裕 岡崎 茂 梶川恵美子
門脇規矩子 門脇 哲也 古徳 寧 土田 良和
畠山 陽子 増岡 茂 山本美千枝

説明のために出席した者
教育長 佐々木邦広
生涯学習課長 黒崎 享
生涯学習係長 濱田 潤
文化体育係長 竹内 勝

説明以外の出席者
境港市教育委員会教育委員長 酒井伊津子

傍 聴 者 なし
会 議 書 記 濱田 潤
報 告 事 項 (1) 平成28年度社会教育関係事業概要について
(2) その他
協 議 事 項 教育委員会の点検評価について
(社会教育事業)
閉 会 16時40分

(15:00 開会)

生涯学習課長 開会
教育長 挨拶
生涯学習課長 委員の説明
生涯学習課 報告 (平成28年度社会教育関係事業概要について)
委員 資料の2ページに学習等供用施設と公民館とありますが違いは。
生涯学習課 各公民館には、2枚の看板がかかっています。学習等供用施設ということ
委員 資料の3ページに「公民館施設整備事業」と「学習等供用施設整備事業」
生涯学習課 分りにくいですが、「公民館施設整備事業」については、市内7公民館
委員 「学習等供用施設等管理費」と「学習等供用施設整備事業」の違いは。
生涯学習課 「学習等供用施設等管理費」は人件費や運営費で、「学習等供用施設整備事業」
委員 各公民館に2枚の看板がかかっているということですが、金のでどころ
生涯学習課 「学習等供用施設条例」と「公民館条例」の2つの条例があります。2
委員 公民館には、公民館職員がいて運営しています。なぎさ会館・しおさい
生涯学習課 公民館は、学習等供用施設としての側面もありますが、それよりも公民館
委員 2枚の看板を掲げているのは、公民館は文部省、学習等供用施設は防衛
生涯学習課 市民の皆様は、学習等供用施設の名称より公民館の名称が定着していま

す。私たちも一般的に公民館という名称を使っていますが、条例的には2つの名称を持っています。2つの役割・意味合いをかねたものがあるということです。それで、2つの看板を掲げています。

委員

学校・家庭・地域連携協力推進事業についてですが、県の補助金がカットされると話が聞こえており、校長会でも県の補助を継続するように強い要望をしているところです。現在の県の状況、また、カットされた場合事業継続が難しいと思いますが見通しを教えてください。

生涯学習課

本年度も県から2分の1の補助をいただいて実施しているところですが、来年度以降補助がなくなるという情報は聞いておりません。来年度以降も事業推進していきたいと考えておりますが、もしなくなる場合でも学校にとって有意義な事業だと思いますので財政課とも協議しながら事業が継続出来るように話をしていきたいと思っております。

委員

この事業は10年ほど前に国が3年から4年の期限を設け実施した補助事業で、その後は各自治体で実施してもらいたいと考えていました。島根県雲南市のやり方は補助が終わった時に公民館主事が1人それぞれの学校に朝行きます。机ももらっています。学校側からの「こういうボランティアをしてもらいたい」「こういうやり方をしてもらえませんか」との要望を公民館主事は公民館にもどり自分たちの地域の中でボランティアを集めて実施します。

今の学校支援ボランティアは、人を集めて実施しているだけのように、読み聞かせにいたっては丸投げが多いように感じます。学校からの要望を聞いた場合は、ボランティアと学校が良く話しあい、本の選定など実施方法を協議して実施、そして振り返る。こういったことが必要だと思います。

生涯学習課

学校支援ボランティアにつきましては、皆さんの意見を聞きながらより良い方法を常に考えていく必要があるかと思っております。

委員

日韓露駅伝交流事業については、韓国のチームは数年間参加していないようですが本年度の目途がたっていますか。また、昨年度は200万円の予算でしたが本年度は170万円となっていますが、その理由は为什么呢。

生涯学習課

韓国東海市につきましては、照会中ですが本年度は参加出来るかもしれないとの前向きな回答をいただいております。参加出来ない場合は、江原道ではないですが、浦項市に大学がありまして若手の陸上選手が確保出来るようですので、浦項市に照会をかけようと考えています。浦項市は本市も加盟しています環日本海拠点都市会議の構成メンバーです。

予算につきましては、韓国が参加出来ないことを想定している訳ではなく、昨年の実績をみながら事業費を見直したものです。必要な予算は確

保しています。

委員

DBSクルーズフェリーは、東海市を木曜日の夜に出港し金曜日の朝に境港市に着きます。日曜日に鬼太郎カップがありますが、次の土曜日まで滞在されるのかそれとも飛行機で帰られるのでしょうか。また、市はどこまで補助されるのですか。

生涯学習課

韓国選手につきましては、平成24年度までしか参加実績がございませんが、当時はDBSで来られDBSで帰られるスケジュールの場合は長丁場になり負担が大きいため、月曜の岡山発の飛行機で帰っておられました。本年度はどういうスケジュールを組まれるか分かりません。場合によってはDBSかもしれませんが、選手の希望に応じた形でチケット等を手配したいと考えております。

委員

その間の滞在費は境港市が負担するのですか。

生涯学習課

基本は月曜日までです。昨年のロシアは土曜日のDBSで帰られました。鬼太郎カップが行われた日曜日から次の土曜日までいらっしゃいましたが市が経費として負担するのは月曜日までです。それ以降は、自分たちの経費で滞在されました。

生涯学習課

金曜日に着かれますので、市では金・土・日・月この4日間の食費・ホテル代。加えまして、DBSで往復された場合はDBSフェリー代金の全額。片道、飛行機で帰られた場合には、往路のDBSフェリー代金の全額、復路の飛行機代の半額負担を上限に韓国側に打診しております。

委員

何人くらいいらっしゃいますか。

生涯学習課

監督・コーチを含め、だいたい10人くらいです。

生涯学習課

報告(2)その他を設けておりますが、なにかございますか。

委員

市の美術展について、昨年度メンバーの高齢化や出品数が減少したということでしたが、文化協会の方に小学生の絵画教室を開いていただき、小さいころから美術に関する目を育んだ方が良いのではと提案をさせていただきましたところ、教育長も来年からと言われましたし、担当の方もそういう方向で進めたいと言われましたが、どうなりましたか。

生涯学習課

子ども向けの絵画教室については、本年度、反省会の運営委員会において市から提示させていただきました。運営委員からもぜひとも来年度の市の美術展覧会の会期中に、運営委員さんや文化協会に所属する書道や絵画の団体の方等が中心となり、現在ある絵画・写真・書道・工芸・彫刻5部門について、それぞれ絵画教室・写真教室・書道教室というような形で小学生などを対象にした教室をやっていこうということになりました。市といたしましては、来年度予算に向けては、子ども向け教室分を増額した美術展覧会の運営経費を要求していきたいと考えております。

委員 実現出来そうですか。

生涯学習課 先ほどの委員からは本年度からと言われましたが、なかなか本年度からとはなりません。運営委員会の前段で昨年度の社会教育委員会において、意見が出たことを報告しました。それを受けて、市のたたき台をさせていただき、いかがいたしましょうかと申しましたら、皆さんが今の現状を認識しておられますので、何かしらやってみようという機運が高まったような形になりましたので、市といたしましても予算要求しようとなりました。皆さんの意思統一が取れましたので、今年からとはなりませんが、来年は向かいたいと考えております。

生涯学習課 関連しまして、委員さんから市美術展覧会の看板のことでご指摘いただきました。看板を作成しました。

委員 説明（教育委員会の点検評価について）

生涯学習課 「学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業」の学識経験者による指摘・助言に「孫が小学生の頃、学校便りで図書室から借りた冊数の多さを奨励するかのよう記事を読み、その記事と冊数の多さに疑問を感じたことがあります。」と記述があります。誠道小学校では、多くの本を借りているがその中身を調べてみると、絵本のように5分・10分で読み終わるもので冊数を稼ぐ。そういう意思ではないと思いますが、データ的にはそのようにも捉えられるということで、工夫をして何でも良いのではなく、下学年・中学年・上学年ごとの推薦図書を作り示しました。推薦図書に該当するものは字数が多いです。本当に読書に繋がるようなものを推薦図書としています。何でも良い部門と教員が指定した推薦図書部門という形で、内容的に充実した競争にもっていこうと進めているところです。

委員 「中学校の読み聞かせには若干違和感があります・・・」とありますが、効果があることは、何年も前から実証済みです。

委員 ボランティアの見守りを各地でやっておられます。タスキなどをつけておられますが、どこからかお金がでるようなことや支給はありますか。

生涯学習課 先日の議会におきましても、そういったご指摘をいただきました。着ているものがバラバラであるとか古くなっているとか統一的なものが何とかならないかと。生涯学習課におきましても、市内統一のベストを揃えることが出来ないか検討しているところです。

生涯学習課 防犯協議会からいただいたものを支給しているのが現状です。今回の議会での質問を受けて、各地区の要望をお聞きし、市内全域で同じようなものを揃えたいと考えております。皆さんに着ていただいて市内全域で見守り活動を行っているPRしたいと考えています。現在、補正予算を要求しております。

保険につきましても、自治防災課が所管しています保険に登録メンバー表を出していただければ登録出来ます。学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業に加入していないボランティアもありますが、メンバー表を出していただければ保険に入れますので対応しています。

委員

渡地区では同窓会で事業として学校支援を行っています。福祉は福祉で見守りをしています。福祉課や自治防災課に話をしましたが、誰でもボランティアをしている人は対象になるように自治会単位で保険加入してはと思います。

生涯学習課

自治防災課所管の保険は、メンバーさえ出していただければ対象になります。

委員

「市民と議会の懇談会」において、渡の芋代官のある場所が草むらになっており、普段訪ねていきたい方が入ることが出来ないと話があり、何とかならないかと意見が出ていました。

生涯学習課

渡の芋代官がある土地は、渡自治会の所有となっています。芋神さんの祭の前には草刈りをしていると伺っています。

委員

「入れるようにすることを考えておかないと」と意見が出ていました。

委員

学識経験者はどのような方ですか。

生涯学習課

「社会教育の点検評価」について指導を仰いでいる学識経験者は、元公民館長さんが多いです。

委員

多いとは、何人かいるのですか。

生涯学習課

学校教育も点検評価を受けておりまして、学校教育関係の事業ということで他の方が評価しています。社会教育を点検評価する学識経験者は元公民館長さんが何回か続いています。

委員

毎年同じ方ですか。

生涯学習課

昨年変わっております。

委員

学識経験者による指摘・助言は真意が伝わるような書き方が必要だと思います。

委員

何年か前にも提案しましたが、夏休みの子供達達の過ごし方のことです。共働きの家庭が多く、親御さんがいない家がゲームをする集まり場になっていたり、親御さんも子ども達を置いたまま仕事に出ることを、特に低学年は心配しておられます。地域で子どもを育てるという観点で、公民館で宿題を見る時間を取れないかと何年か前に話したことがあります。毎日は大変ですが、試験的に夏休みの間など、親御さんも安心出来ますし、校区内の公民館に行けば良いと思います。元教員でなくても、夏の友を見るとか、工作や手芸などが得意な方もいらっしゃると思います。少しでも夏休みに安心して子供を預けることが出来るような公民館にはならない

ものでしょうか。

各公民館で夏休みの講座はしておられますが、誰でも気軽に行けて宿題を助けてもらえる時間が少しでもあれば、保護者も安心出来ると思います。公民館は忙しいですか。

委員 公民館職員が宿題を見るのですか。

委員 場所の提供です。

委員 それは可能です。

委員 元教員でなくても、子ども達と一緒に話をしたり、宿題を助けてあげる時間が少しでもあれば、保護者も安心出来ると思います。

生涯学習課 児童クラブとの関係もあります。

委員 児童クラブは手続きをして、お金を払っています。そうではなくて、誰でも気軽に行って宿題を見てもらえる。

委員 場所提供でするので出来るかもしれませんが、なかなか部屋も少ないので難しい面もあります。また、子どもに教えるとなれば、学校の元先生に協力をしてもらわないといけません。

生涯学習課 需要はありますか。

委員 夏休みだからといって、全然学校に来なくて良いという訳ではありません。水泳指導や学習指導など、おそらく1週間に1度は学校に来ていると思います。学校は学校で出来る範囲のことをやっていますし、児童クラブも誠道では昨年度から高学年が始まっており、様々な団体が出来る範囲のことを少しずつやることにメリットがあると思います。どこか1つの団体が責任をもって全部やるという訳ではなくて、公民館が出来る範囲でされるなら、学校が支援します。子ども達は様々なニーズがあります。学校は嫌だという子どももいるかもしれません。

委員 中学校は部活の関係で大体子ども達は学校に来ています。考えておかなければならないのは、週5日制になった時点で、土曜日の子ども達の過ごしをどうするかと話題になりました。その時に公民館に丸投げしてしまいました。公民館は頑張られました。様々なことを企画されて頑張られましたが、結局子ども達が来なくなり、長続き出来なくなりました。そのことを含めて考えていかないと、うまく回っていかないと。しかし、都会で一番大事にされているのは夕方の学習をどうするか、経済的な格差が出て、貧困家庭の子ども達をどう過ごさせるかが話題になっています。そこで、様々な福祉や地域が子どもを集めて食事を食べながら勉強を教える。そういうことをやっています。ニーズはかなり高いと思います。ただ、仕組みをどう作っていくか。公民館に丸投げにはなりませんし、市を挙げて全員で考えていかなければと思います。

教育委員長 学校にいましたが、今子ども達は夏休み中でも学校に行く機会はたくさんあります。低学年の子は児童クラブに行きますが、高学年の子は毎日のように学校に来ている印象があります。だから、夏休み中に子どもだけの時間はそれほど多くないのかなと思います。公民館も子ども達に対して様々な行事を設けていただいています。児童が参加出来ることを考えておられます。学校も公民館の行事を見て、公民館の行事がある日は学校の行事を組まないようにしています。登校日以外は学校に来ないという訳ではなくて、結構学校に来ています。今年は夏休みの期間も短いです。

委員 8月末から小学5・6年生の英語の土曜学習がスタートします。

委員 子ども達が少しでも安心して過ごせる場を出来るだけたくさん作りたい。子ども達が選んで行けるのは公民館が気軽に行けるのかなと思っていました。地域でもっと子ども達を見ることが出来ないかと思い提案しましたが、色々な場があるということでもいいなと思いました。

教育委員長 挨拶

(16:40 閉会)